

安永2(1773)年4月付の文書には、「米代大川掘替致候」と書かれている。洪水時の続く損害のた

野代川から米代川へ
前号では、阿仁鉦山が阿仁川および米代川流域の地域によって支えられていたことを明らかにした。このような歴史から、河川は人や物の流通を行う上で重要な役割を担っていたことがわかる。今回は米代川について考えてみたい。

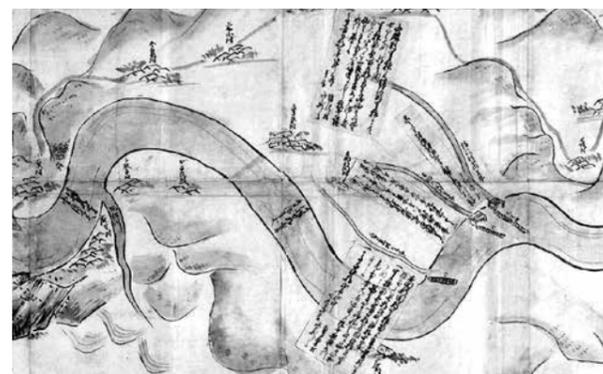
鷹巣村の有力者である成田家には様々な古文書が残されていた。その一つで「鷹巣村諸書附古実写全文 政5(1822)年」の中に延宝3(1675)年正月付の村方文書には「野代川のながれは何方も掬百四五拾間」と書かれている。享保8(1723)年2月付には、「南は脇神村と境大川限り」とある。なお、古文書の中で書かれている野代川、大川とは、現在の米代川のことを指している。



▲鷹巣の舟場跡



鷹巣の舟場跡



▲「米代川絵図」(秋田県立図書館蔵)

(注1) 瀬替え 新しく川を掘削して、河川の流れを変える工事
(注2) 関根留 「倉留め」(木工沈床)ともいい、枠の中に重石を入れ、流れを取水口に寄せる工法

永井 高道

温故知新

Vol.5

野代川から米代川へ

鷹巣村の有力者である成田家には様々な古文書が残されていた。その一つで「鷹巣村諸書附古実写全文 政5(1822)年」の中に延宝3(1675)年正月付の村方文書には「野代川のながれは何方も掬百四五拾間」と書かれている。享保8(1723)年2月付には、「南は脇神村と境大川限り」とある。なお、古文書の中で書かれている野代川、大川とは、現在の米代川のことを指している。

現在の米代川は、鷹巣と坊沢の間では対岸の小ヶ田集落寄りをまっすぐ流れているが、これは「瀬替え」の結果であり、それ以前の米代川は、水路が激しく蛇行することから、洪水のたびに流域の耕地を流出させていたのである。

また、いつ米代川と呼ばれるようになったのかについては、江戸時代に大館に住んでいた黒澤道形という人物が、文化14(1817)年に書いた「秋田千年瓦」には、「古老の伝説を聞くに、今の米代河、古くは南部にて能代河と唱ひけるを、後に鹿角郡南部領に定りてより米代河と

唱ひた」と記しており、この頃に米代河という名称が定着したと考えられる。また、野代地方も立て続けに震災にあったことから、宝永元(1704)年に野代(のにかわる)から能代(よくかわる)に名称を改めている。

米代川は、米白川とも書き、岩手県安代町(現八幡平市)地内に源を発し、花輪、大館、鷹巣盆地を西流し、能代平野から日本海に注ぐ。尾去沢、小坂、阿仁などの鉦山と林産に恵まれた地域を有し、物資を能代へ運ぶ経済的な大動脈の役割を持っていた。

また、鉦石、木材運搬のために、米内沢、鷹巣、荷上場などの舟場(船場、川港)が栄えた。農業開発にも大きな役割を果たし、「米代川絵図」(享保後期)および「1725(35年頃)制作」秋田県立図書館蔵)には、太田新田、坊沢、鷹巣村の関根留(注2)(取水堰)が記されている。堤防の強化や護岸工事などの治水対策と、岩堰や穴堰といった水路やトンネルで水を引く利水技術で、米代川氾濫原での新田開発を可能にした。北秋田江戸時代初期の肝煎層で鹿角出身者が多い(成田氏、花田氏など)。その一方で、能代を経由した移住者、商業者の由緒も目に付く(河田氏など)。このよう

- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



学びの広場

「チームつながり♥第1回なかま市」 ～障害者のための生涯学習支援モデル事業～

10月3日、障がいのあるなしに関わらず、老若男女問わず、みんなで支え合う共生社会の実現と中心市街地にぎわいづくりの一環として、チームつながり連絡協議会による第1回「なかま市」が市民ふれあいプラザコムコムで開催されました。

当日は北秋田市障害者生活支援センターささえや比内支援学校たかのす校、秋田北鷹高等学校の生徒などが創作活動等での作品や成果品を実演販売し、沢山のお客さんを前に、来場者と会話を深め、笑顔



▲しそジュースを紹介する生徒でコミュニケーションを図る姿が見られました。

阿仁地区周辺の歴史に触れる ～阿仁公民館定期講座「あに歴史探訪」～

10月5日、阿仁公民館定期講座「あに歴史探訪」が開催されました。

3回目の講座となるこの日は、受講生11名が参加し、阿仁前田の唸風句碑、七日市の旧長岐家住宅、本城の金家住宅などを見学しました。

中でも参加者たちは俳人として数々の句集を発表した阿仁前田の庄司唸風句碑で、「鳴きやめば皆水になる蛙かな」と名句が刻まれた句碑を見て、唸風の生涯に思いを馳せながら、講師の戸嶋喬さんの説



▲阿仁前田の唸風句碑を見学する受講生明を受けて郷土の文化財に触れていました。

「めざせ!花いっぱいのもち北秋田市」 ～北秋田市花だんコンクール～

北秋田市花いっぱい運動推進協議会主催の「花だんコンクール」の現地審査が9月11日に行われました。審査結果は以下のとおりとなります。

市長賞：秋田県立比内支援学校たかのす校(団体の部)、藤根ミサさん(家庭の部)
市議会議長賞：NPO法人北秋田ハッピーデリバリー、合川小学校
教育長賞：鷹巣南小学校、鷹巣小学校
生涯学習課長賞：七日市公民館、沢口公民館



▲花だんを審査する審査員(阿仁比立内松森老人クラブ)花いっぱい運動推進協議会長賞：大阿仁小学校、摩当婦人会、高鷹大学園芸クラブ、合川ことぶき大学